



創立20周年の節目に
心に刻むのは、先輩たちの
想いを継承しながら、
青年経済人の学びの場として
発展し続けることです。

Closeup Interview
クローズアップインタビュー
新本 考氏
あらもと・たかし

仙台商工会議所青年部 令和4年度会長

プロフィール

1979年生まれ。
宮城県出身。横浜国立大学経営学部を卒業後、丸紅(株)へ入社。2013年6月、仙台に戻り、セルコホーム(株)取締役経営企画室長へ就任。常務取締役を経て、2021年4月に同社代表取締役社長就任。
2013年6月、仙台商工会議所青年部に入会。理事、副会長を歴任し、2022年4月、仙台商工会議所青年部令和4年度会長に就任。

【概要】

仙台商工会議所青年部

令和4年度会長 新本 考(セルコホーム(株)代表取締役社長)
事業内容 45歳までの青年経済人が、自企業と地域経済の発展に寄与することを目的に、独自事業の企画・運営、会員限定のセミナーやワークショップ、全国の商工会議所青年部と連携したさまざまな活動を行う。2022年4月1日現在の会員数は233人。

所在地 仙台市青葉区本町2-16-12
TEL 022-265-8127(仙台商工会議所青年部事務局)
HP <https://www.sendai-yeg.jp>

― はじめに、仙台商工会議所青年部(以下、仙台YEG)の活動についてご紹介ください。

仙台YEGは、仙台商工会議所内の青年経済人による組織です。会員間の交流を図り、各事業を通じて、自己研さんによる資質の向上を目指しています。他の青年経済団体と異なり、会員間のビジネス交流が活発に行われている点が大きな特徴です。

近年、特に力を入れていることは「プロモーション活動」です。自分たちがどのような考えを持ち、何を行っているのかを、より多くの方に知ってもらうため、積極的に発信しているというもので、清川晋前会長の頃から力を入れてきました。

これまでも、私たちは時代の動きに合わせて事業を考え、実行してきました。例えば、コロナ禍で緊急事態宣言が発令された2020年には、大会やコンクールなどの発表の場を失った文化部に所属する高校生たちを応援しようと、中心部のおおまち商店街に設置してある大型ビジョンを1カ月間借用して、週替わりで10団体のパフォーマンス映像を放映しました。この取り組みは、商店街に足を運んでもらうきっかけにもなったと自負しています。また、2021年度には、医療従事者を対象に、感謝の気持ちと心を休めていただきたいという思いを込めて、仙台YEGの会員事業所の自社商品の割引などの特



写真上：2022年度の仙台YEG役員を選任する臨時会員総会で、所信表明をする新本会長(2021年10月26日)。「日々刻々と変化する世の中に対応するためには、既存の枠にとられない新たな考えや発想が必要不可欠。青年経済人らしい発想で、会としてさらなるステップアップを図っていきたい」と力強く決意を述べた。
写真左：令和4年度仙台YEGスローガン

典を提供しました。今後も、このような時代と人々のニーズにマッチした事業を考えて実行するだけでなく、それらをしっかりとアピールすることも継続して行っていく予定です。

さらに、私たちは政策提言団体として、3度目となる提言書を作成しました。今回盛り込んだ内容は大きく2項目あります。1つ目は、「地域で成功事例を共有。DX先進シティに！」。これは、DXに取り組んだ企業に対して仙台市が表彰を行う制度をつくり、行政が取り組みを後押しすることで、地域全体におけるDXの底上げを図るというものです。2つ目は、「多様性を認め合い一人一人が過ごしやすい」「多様性先進都市仙台へ！」。この項

目では、ダイバーシティー&インクルージョン支援企業の認定制度を仙台市が行うことで、人口流出防止や新たな人材確保を促進し、経済を活性化することの重要性を訴えました。このような政策提言は、今後も継続して行っていく予定です。

― 仙台YEGは、メンバー間による本業での交流も活発に行われていますが、新本会長と他のメンバーによる連携で生まれた事業などはありますか。

コロナ禍となり、各企業は従来の対面での商法から非対面商法へと切り替えて、その強化に取り組んでいます。例えば、仙台YEGでは、飲食店とタクシー会社の連携によるデリバリーサービス「タクシー

リ」や、飲食店を応援することを目的としたクラウドファンディング「愛する店ドットコムみやぎ」など、コロナ禍を乗り越えるための新規連携事業を立ち上げました。

こうした商法の変化は、私の本業であるセルコホームが属する住宅業界でも同様で、住宅展示場や見学会に行きたいけれども今は行けないという方向けに、「ルームツアー」の動画がYouTubeで盛んに公開されるようになってきました。こうした流れを受けて、弊社も仙台YEGの仲間とタッグを組んで、ルームツアーの動画撮影・編集、さらに、グループ会社の飲食店でもインスタグラムの強化やホームページの改善に着手しています。日頃から交流があり、信頼できる仲間とだからこそ、安心してスピーディーに新しいチャレンジを進めることができました。こうした点も仙台YEGの魅力だと思います。

― 仙台YEGは2022年度に創立20周年を迎えます。この節目を迎えるにあたり、新本会長の思いをお聞かせください。

会社や団体を存続、発展させるには、日々、変化していかなければならないと考えています。弊社は創業から64年になりますが、高度経済成長期には不動産業バブル期にはマンションデベロッパー、バブル崩壊後は、社名を現在のセルコホームへと

Closeup Interview

信頼できる仲間だからこそ、
新しい仕事にも挑戦できる。
それも仙台YEGの魅力です。



変えてハウスメーカーに転身し、自分たちのビジネスを変化させてきました。恐らく、どの企業もコロナ禍以前とは、営業の手法や考え方が変わっていると思います。それと同様に、仙台YEGも一つの組織として発展するには、常に新しいことを考えて次に進まなければなりません。いまだコロナとの戦いは続いています。YEGらしく、新しいフレッシュな発想で、この難局を乗り越えたいと思います。

— 2022年度のスローガンとして掲げている「新考進展」20年の集大成、

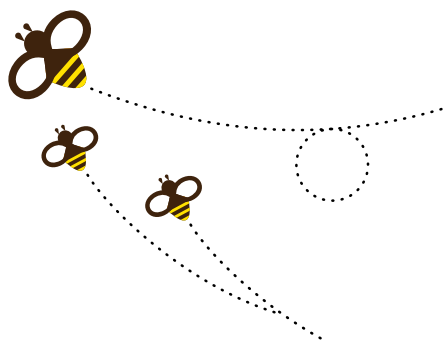
そして次の20年へ想いを繋ぐ」に込めた
思いをお聞かせください。

2002年、54人で発足した仙台YEGは、これまでに東北ブロック大会の開催や全国大会の受け入れ、日本商工会議所青年部の会長を輩出するなど、さまざまな経験と実績を積み上げてきました。会員数も230人を超え、全国的にも大きな団体へと成長しましたが、私がこれからは大切にしていきたいのは、先輩方が積み重ねてきた「仙台YEGに対する想い」です。このスローガンには、その思いも一緒に受け継ぎ、次の世代に伝えていくという気概を込めました。

— 最後に、仙台YEG会長としての今後の抱負や目標をお聞かせください。

私自身、2013年に仙台YEGに入会した当時は、人脈づくりが主な目的でした。しかし、ここでの経験は人脈だけではなく、視野も広げることができ、人間的にも成長できました。会員数が多ければ多いほど、こうした成長の機会が得られますので、引き続き会員増強に力を注いでいきたいと思っています。そのためにも、仙台YEGを自営業がより発展するような経験や研さんを積める場としていけるように努力するとともに、「ここには青年経済人の学びの場がある」ということを広く発信していきます。

より良い環境をめざす。



青葉環境保全 **AOBA**

〒984-0037 仙台市若林区蒲町19-1 TEL 022(286)3161(代)